

令和2年度（2020年度）第7回教育委員会（8月臨時会）議事録

- 1 日時 令和2年（2020年）8月26日（水）
午後1時30分から午後4時00分まで
- 2 場所 教育委員会室（県庁行政棟新館7階）
- 3 出席者 教育長 古閑 陽一
委員 木之内 均
委員 吉井 恵璃子
委員 櫻井 一郎
委員 吉田 道雄
委員 田浦 かおり

4 議事等

(1) 議案

議案第1号 県立中学校における令和3年度（2021年度）使用教科書の採択について

5 会議の概要

(1) 開会（13:30）

教育長が開会を宣言した。

(2) 議事録署名委員の選出

教育長が田浦委員を指名し、了承された。

(3) 会議の公開・非公開の決定

教育長の発議により議案第1号を公開とした。

(4) 議事日程の決定

教育長の発議により議案第1号を公開で審議した。

(5) 議事

○議案第1号 「県立中学校における令和3年度（2021年度）使用教科書の採択について」

高校教育課審議員

高校教育課です。説明を始める前にお手元の資料を確認します。A3判ファイル横置きを選定資料とA4判の選定意見書になります。

それでは、技術・家庭の技術分野について説明します。選定意見書17ページ、技術分野は3者からの採択です。お手元のA3の教科用図書選定資料138ページの中学校技術・家庭科の目標に照らし合わせ、県立中学校の教育活動に寄与することができる教科書としての観点から調査研究を行いました。各教科書発行者の総合評価結果を上段にまとめています。ポイントだけ御説明します。

東京書籍：「技術の最適化って何だろう」や「未来を創る問題解決」などのガイドダンスが充実し、主体的な学びに導く工夫がなされています。

教育図書：「つくってみよう」では、基礎基本について丁寧に紹介されていて、実習に取り組みやすいです。

開隆堂：項目毎に目標と振り返りが設けられていて、自己評価をすることができます。

選定委員会では、東京書籍が特に工夫をなされているとされました。

1 ポツ目ですが、東京書籍 6～17 ページを御覧ください。教科書の最初に「技術分野のガイダンス」があります。特に特徴的な点は 11 ページの「最適化の窓」で、生徒が「技術の見方・考え方」を捉えやすく、また思考を広げやすくなるような形で示されています。

他者にも同様に導入のページがあります。開隆堂は 10～19 ページに学習の流れを 5 つの項目で丁寧に説明してあります。また、教育図書は 6～9 ページにガイダンスのページがあります。

2 ポツ目ですが、東京書籍では、主体的に調べたり、友達と協働したりして比較・検討するための発問が多く設定されています。例を見てみたいと思います。92 ページを御覧ください。単元のはじめに「考えてみよう」という発問があり、学習への動機付けになっています。また、98 ページや 100 ページには「話し合ってみよう」で意見を交換したり、95 ページのような「活動」を通して考察を深めたりできるようになっています。これらの活動を通して、県立中生徒が主体的・対話的で深い学びを行うことができます。

開隆堂も例えば 100 ページのように単元のはじめに「調べてみよう」や「考えてみよう」などの発問が設けてあります。

説明は以上です。

教育長

ただ今の説明について、御質問等がありましたらお願いします。

吉田委員

どの教科書も技術の内容についてとても細かいところまで書かれていました。あとは先生方の授業における技術、テクニックによると思います。

教育図書は子どもの視点からは、安全や防災、情報モラルを表示するマークが大きくて見やすく、お互いに関係ある内容が捉えやすいと思いました。開隆堂ははじめに安全が強調されていますが、防災に関する記述が少ない感じがしました。教科書は生徒達に「何をどう学ぶか」を伝える必要があります。その点で、東京書籍は、全体を「未来をつくる問題解決」として位置づけ、PDCAの流れに沿って整理されていました。この辺りを先生方が押さえていただくと、技術・家庭に限りませんが、各教科がさまざまな生活場面で役に立つと思いました。その点で東京書籍が印象に残りました。

教育長

ありがとうございます。他に何かありますか。

櫻井委員お願いします。

櫻井委員

理科と技術科の大きな違いは、物を実際に作るかどうかだと思います。例えば、ラジオの送信・受信の理屈を勉強し、実験をして理解するのが理科で、実際にラジオ受信機を組み立てて、情報を聞けるようにするのが技術の勉強。両方を学習して初めて世の中で役に立ちます。これからは小学校からプログラミングの勉強が始まりますので、ラジオではなくロボットを製作すると、ソフトウェアで動く機械が作れるようになります。コンピュータによって機械を動かすというときは、ゲームのような画面上で完結するプログラミングとは少し違う技術力が必要です。それこそが今からの時代に使える技術だと思いますので、そこをどう記述してあるかを良く見たのですが、この 3 者ともあまり上手くいっていないように思いました。この 3 者から選ぶのは、難しい。他に文部科学省のものがあれば別ですが、

もう1度検討した方が良いと思います。以上です。

高校教育課審議員

検定済みの教科書は3者だけになりますので、3者から選ぶようになります。

櫻井委員

副読本か何かで、小学校で勉強してきたことと、中学で勉強することの連続性を強化した方が良いかもしれません。せっかく小学校でプログラミングを覚えてきた子ども達が入ってきますので、技術の視点でプログラムを活かす。例えば、福岡では産業界から歩行ロボットを寄付されていたと聞いています。その辺りを注意していただければと思います。以上です。

教育長

ありがとうございます。吉井委員、お願いします。

吉井委員

私が中学生だった頃は技術を学んでいませんので、とても新鮮な気持ちで読みました。そして、技術というのは上の学校に行くために勉強するものではなく、その後、自分が社会人になったときに必要な大事な教科だと思いました。そして、職業選択のときの一つの指針になる教科だとも思いました。

東京書籍に「学んだことを社会に生かす」という言葉があり、それぞれの分野で働く人達の言葉が載っていて、とても説得力がありました。それこそ技術は人の暮らしを根底から支えている、そういう教科で良いなと思って見ました。

私は、家が林業ですので、つい読んでしまったのが柾目と板目のところでした。私の子ども達のときの教科書に書いてあって、テストにも出ていたので、きっと重要どころなのだろうと思っていましたが、教育図書にはそれがありませんでした。一番詳しかったのが開隆堂で、東京書籍は少し触れる程度でした。時代とともにいろいろと忘れ去られていくというのは残念な気持ちがしましたが、読んだ限りでは東京書籍が良いのではないかと思います。以上です。

教育長

ありがとうございました。他に何かありますか。

ないようでしたら、委員の皆様から東京書籍という意見が多く出ましたけれども、東京書籍の採択ということによろしいですか。

(委員了承)

教育長

ありがとうございます。

あと、櫻井委員から御指摘のあった点に関しては、今後の授業の中で生かしていただくようにお願いします。

教育長

続きまして、家庭分野の教科書について説明をお願いします。

高校教育課審議員

選定意見書18ページ、技術・家庭の家庭分野です。家庭分野は3者からの採択となります。お手元のA3の教科用図書選定資料146ページの中学校技術家庭科の目標に照らし合わせ、県立中学校の教育活動に寄与することができる教科書としての観点から調査研究を行いました。各教科書発行者の総合評価結果を上段にまとめてありますので、御説明します。

東京書籍：「考えよう」や「やってみよう」で主体的な学びを深めたり、多くの実習例を示し、学習や探究の幅を広げたりできるような工夫がなされています。

教育図書：小学校での学習内容の系統性を明確化できる章の構成となっています。
開隆堂：小学校での学習内容の系統性を明確化できる章の構成となっています。

選定委員会では、東京書籍が特に工夫をなされているとされました。

1 ポツ目ですが、東京書籍では、主体的に調べたり、友人と協働して比較・検討したりするための活動や発問が掲載されています。お手元の東京書籍26ページを御覧ください。「話し合ってみよう」で栄養素についての話し合い活動を行います。24ページには「やってみよう」、28ページには「考えてみよう」等が設けてあります。活動の指示が具体的で、県立中学生が学習内容に興味を持ち、主体的・対話的に学ぶように工夫されています。

2 ポツ目、「問題を解決する道筋」と「生活の営みにかかる見方・考え方の例」は課題発見が苦手な生徒にとって、視点（見方・考え方）が分かりやすく示してあります。教科書8～9ページを御覧ください。上段に課題解決学習の進め方を具体的に示してあります。また、下段に「生活の営みにかかる見方・考え方の例」として、協力・協働や、健康・快適・安全の観点等、家庭科の学習における見方を例示することで、生徒が自分自身で課題を発見できるような工夫がなされています。

次に、268ページを御覧ください。268～277ページまでにわたって、高校で学習するホームプロジェクトや学校プロジェクトにつながる「生活の課題と実践の進め方」に取り組むページになります。なお、ホームプロジェクトとは、学習指導要領にも示されているもので、家庭での課題を自ら発見、設定し課題解決のための研究を行う活動のことです。

他者の「生活の課題と実践の進め方」も見てみます。教育図書は282～291ページまでになります。また、開隆堂は266～277ページまでです。

各者、それぞれに工夫がみられます。東京書籍は課題の決め方やまとめ方、考える際の助けとなる思考ツールの活用や実践例として、レポート、新聞、ポスター等の例示も丁寧で、進め方がわかりやすく表現されています。

3 ポツ目★マーク、基礎的な知識・技能を補えるように調理動画等のコンテンツも工夫されています。例として、東京書籍59ページの野菜の切り方を見てみたいと思います。QRコードは5ページにまとめられていますが、「Dマーク」があるところが、ICTが活用できるページとなります。

同じ箇所の動画は教育図書では117ページ、開隆堂では111ページになります。東京書籍は、他教科との学習内容の関連も取り上げてある点が特徴です。説明は以上です。

教育長

ただ今の説明について、御質問等がありましたらお願いします。

吉田委員

家庭科の時数はどのくらいありますか。

県立中学校教諭

1・2年生は、年間35時間。3年生は、17時間になります。

吉田委員

現在のところで、教科書の分量と時数の関係はどのような感じですか。

県立中学校教諭

もちろん教科書の分量を多く感じる場所もありますが、関連付けて教科書1冊が終わるように授業を進めています。

吉田委員

最終的には、子ども達が「面白かった」「家でもやってみたい」と思えることが大事なのでしょう。

教育図書の「くらしを創造する」は安全等のマークが大きい点で技術分野と共通しており、望ましいと思いました。

私はサブタイトルに関心があって、それを見ると教科書が訴えたいものが伝わってきます。開隆堂は「生活の地代土台」「自立と共生」です。それぞれに関係づけた解説をしており、「自立と共生」は表裏一体のものでとても良いと感じました。

東京書籍は「自立と共生を目指して」です。これは目次の段階ですが、「自ら生活を作る」「生活者として意思決定する」「共に生きる」と明確な分類がなされており、生徒たちが理解できるようにしていると思いました。

それから、選定の基準とは別に、技術と家庭の教科書は同じ出版社に揃えた方が良さそうな気がします。その点はどうなのでしょう。その方が編集の方針が一貫していると思います。

私は結果としていずれも東京書籍が良いという印象です。

教育長

今、お尋ねがあった技術と家庭との教科書の連動はどうですか。

高校教育課長

事務局からお答えさせていただきます。技術分野と家庭分野というのは他の種目ですので、そのことだけをもって採択に至るということはあまり好ましくないのではないかと思います。1つの要因ではあろうかと思いますが、そういう視点で御検討していただければと思います。

教育長

ありがとうございました。では、櫻井委員。

櫻井委員

今の話を聞いて安心しました。私は、安全に関してどのような書き方をしているかという面で見ました。やはりまず家庭で教えなくてはいけないのは社会生活上において自分も他人も安全でけがをしないためにはどうしたら良いか。ということだと思います。その観点で見ますと、私は開隆堂が良いと思いました。家庭科で勉強する内容は、後から自分で勉強すればいいものも多いと思いますが、安全に関してだけは子どものときに叩き込む方がいいと思います。他者にも安全の項目はありますから、読み込んでみましたが、選ぶとしたら東京書籍より開隆堂が良かったです。技術と教科書を変えて良いのならば、私は開隆堂を薦めたいです。

吉井委員

私も開隆堂が良かったです。92ページからになりますが、調理に関して摂取量の目安というものがあります。実際に作る中で、どのくらいの量になるか、どのくらいの栄養かが分からなく、適当に作ってしまうときに、これを見るとこのくらいの量を入れるといいというのが分かって、とても良かったです。

東京書籍にも目ばかり・手ばかりというものがありましたが、開隆堂が一番はっきりとしていて分かりやすかったです。

そして開隆堂には、調理の関係で美味しさという視点が入っていました。他の教科書には、栄養や様々な成分、料理の仕方はあっても、五感で楽しむ美味しさという項目はなかったような気がします。美味しさというのは大事なことで、食べて美味しく幸せと思うのが一番良いことですよね。これを入れて欲しかった

と思いました。

あとは食文化で、ハレの日、ケの日というのがあって、田舎ではよく使う言葉ですが、そこにも触れてありました。そして後半には里親の問題にも触れてあって、内容的に一番充実している気がしましたので、開隆堂が良いと思いました。

田浦委員

私は、子どもを自立させたいと思ったときに、18才から成人になるということで消費者教育にとっても興味がありました。その点で開隆堂よりは東京書籍と教育図書の方が充実した内容だったと思いました。現代は、夫婦共働きが多くて、子ども達と一緒に時間を過ごして、一緒に家事や家の中の作業をすることがなく、親が教えられない部分が多いと思います。その点からも先ほどの動画を見せていただくと、実際に目で見て子ども達が覚えやすいかなと思いました。以上です。

教育長

ありがとうございました。意見が割れていますが、木之内委員はどうでしょう。

木之内委員

いろいろと見てみましたが、使っていて東京書籍の方が様々な部分で見やすいのかなと思いました。ただ、私は家庭科をあまりやっていないのでどう見ていいのかよく分からないところもありますが、指導の視点としてはそう思いました。

教育長

他は、何か御意見ありますか。

吉井委員

どれも良いのですが、やはり開隆堂が良いと思う1つの理由に、104ページに「水の安全と宝」とあります。ここには、水俣病の患者さんがイチロー選手からバットをもらったというエピソードが載っています。その中には、石川さゆりさんが間に入っていて、石川さゆりさんからその水俣病の患者さんにイチロー選手からのバットが渡ったという話です。私は地元ですから知っていますが、これは個人的に見てほしかったなという気持ちがありました。以上です。

教育長

ありがとうございます。他に御意見ありますか。

御意見が、東京書籍と開隆堂に割れていますけれども、いかがでしょうか。

必要ならば投票という手段もありますので、行ってみましょうか。

(委員了承)

教育長

それでは、投票の準備をお願いします。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項に基づいて無記名による投票による採択をしたいと思えます。また、最も得票したものが複数出た場合については、その中から教育長で判断をさせていただく場合もあります。よろしいですか。

(委員了承)

教育長

それでは、事務局から投票用紙が配られますので、最も良いとする教科書会社名の左側の枠に丸を付けてください。それでは、投票をお願いします。

(投票)

教育長

よろしいですか。それでは、回収をお願いします。

(開票)

教育長

それでは、投票結果について発表します。東京書籍が4票、教育図書が0票、開隆堂が2票ということになりました。

投票の結果に基づいて、技術・家庭の家庭分野については、東京書籍で採択をさせていただきます。よろしいですか。

(委員了承)

教育長

ありがとうございました。

教育長

続きまして、英語の教科書について説明をお願いします。

高校教育課審議員

選定意見書19ページの英語です。英語は6者からの採択となります。お手元のA3の教科用図書選定資料154ページの中学校外国語科の目標に照らし合わせ、県立中学校の教育活動に寄与することができる教科書としての観点から調査研究を行いました。各教科書発行者の総合評価結果を上段にまとめてあります。ポイントを御説明します。

東京書籍：各单元とも英語4技能5領域の活動が全て実践でき、さらに複数の領域を統合した言語活動を、実際の使用場面に近い状況で実践できる構成となっています。

開隆堂：英語の各技能をバランスよく高められる内容となっていて、コミュニケーション活動においては生徒同士が協働的に活動でき、対話的な学びが実践しやすい構成となっています。

三省堂：各单元とも4技能5領域の活動が全て実践できる構成となっていて、発展的な学習に関する内容の充実も図られています。

教育出版：巻末のActivities Plusを用いて、各单元で学習した表現や文を継続的に活用し、即興でやり取りする活動や発展的な学習、主体的な学びを行うことができます。

光村図書：各单元の目標が明確で、学習内容の定着を図り知識・技能を活用する力を育成しやすい構成であります。

啓林館：言語に慣れ親しみ、知識・技能の習熟、活用・定着という過程で学習を進められる構成になっています。

選定委員会では、東京書籍と三省堂が特に工夫をなされている教科書とされました。

東京書籍1ポツ目、目標と振り返りが明確に示されていて、生徒が主体的に学習を進めることができます。教科書の構成について、実際に見てみたいと思います。東京書籍3年89ページを御覧ください。Unit6の冒頭にこのUnitでの目標(Goal)が示されています。この後、教科書に従って一つずつ学習事項を理解し、活用を繰り返しながら98ページのUnit Activityで定着を確認し、最後のCHECKで目標についての振り返りをチェックする欄が設けてあります。

他者も見てみたいと思います。開隆堂は3年91ページに、まずGoal(目標)が簡潔に示されていて、活動を通して学習を振り返る場面はページの下にチェック欄として設けてあります。教育出版は3年57ページに、各PartのはじめにGoal(目標)が示していて、各Partでの学習を終えて、65ページで目標についての振り返りをチェックする欄が設けてあります。

東京書籍は、県立中生徒が自ら何ができるようになったかを把握し、成長を感じながら主体的に学習を進めることができるような工夫がなされています。

東京書籍2ポツ目、3ポツ目、4ポツ目です。東京書籍の工夫されている点の2点目は、英語の4技能5領域を複数統合した活動を通してバランスの良い学習ができる工夫がみられる点です。東京書籍3年102ページを御覧ください。Stage Activityというそれまで学習してきた複数の技能を統合した活動として、ここでは英語によるミニディベートの学習が取り上げられています。読むこと、書くこと、話すこと、聞くことを活用するゲーム的要素もある活動です。ディベートは一方的な発表にとどまらず、双方向の即興的なやりとりを行う活動であり、高校の英語でも実践が広がっている学習活動で、県立中学生が意欲的に取り組み、実践的かつ系統的に英語を学ぶことができます。

次に三省堂1ポツ目です。三省堂においても、この点は工夫点として挙げてあり、ProjectとUseで主体的な学びができるようになっています。三省堂3年118ページを御覧ください。「ディスカッションをしよう」というテーマで、こちらもRead、Listen、Think、Discussという複数の技能を統合した活動をとおして、合意形成や意見を深めるディスカッションを学び、実践的な学びができるように構成されています。

他者も見てみます。光村図書は3年86ページです。こちらも複数の技能を統合したディスカッションを行っています。啓林館でも3年92ページで同様にディスカッションが取り上げられています。

そして三省堂2ポツ目です。三省堂の工夫点としては、もう一つ、Talk Action Talkがあげられています。三省堂3年生47ページを御覧ください。現実の使用場面に近い設定で、会話では中心となるキーセンテンスがわかりやすく示されていて、また、使うべき状況設定がきちんと書かれていることから生徒が主体的にペアワークに取り組めるような工夫がなされています。

説明は以上です。

教育長

ただ今の説明について、御質問等がありましたらお願いします。

吉田委員

まずお伺いしたいのですが、今ではインターネットで例えばアメリカのABCニュース等を見ることができますが、これらは活用されていますか。

県立中学校教諭

実際、ABCニュース等を授業で活用することはほとんどありません。

吉田委員

そうした時間に充てる余裕がないのでしょうか。アメリカ大統領の発言等もほとんど生で視聴できるので、教科書と併せて活用されるといいなとかねてから思っていましたので、お尋ねしました。

私は英語の先生方の技量が自分達の子どもの頃に比べると、はるかに充実していると思います。済々黌高校のスーパーグローバル・ハイスクールの行事で訪問したことがあります。その際は校長先生が英語で御挨拶され、生徒達はしっかり英語でディベートをしていました。高校生であるレベルまで達するのはすごいなと驚くとともに、時代の変化を感じました。そうしたことから、先生方の技量が充実していますので、どの教科書を使っても素晴らしい授業を行われると信じていますし、今後も期待したいと思います。

ただ、今回の英語の教科書でも取り上げていなかったものに分数があります。これを何故早い時期に教えないのかといつも思っています。序数はfirst、second、thirdとなりますが、例えばthirdは第3番目という意味だけではありません。そ

れ自身に「3分の1の」という意味がありますから、「a third」と言えば「3分の1」ですし、「two thirds」と言えば「3分の2」だとすぐ分かります。分数は大学生でもうまく表現できない現実があります。それを教科書で早く教えてほしいと思っています。

また中学生に、セント (cent) が百や百分の一、ミリ (milli) が千や千分の一といった意味があること等を話すと、「だからセンチメートルなんだ」と納得してくれます。先生方がこうした説明を加えていただくと生徒達は英語そのものが面白いと思ってくれるのではないのでしょうか。

また授業で辞書の引き方をしっかり教えていただきたいと思っています。その点で目立つのは三省堂で14ページに辞書の引き方が書かれていて好感を持ちました。東京書籍のNEW HORIZONは1年生のスタートの9ページの学び方コーナーに出ていますし、その後も65ページで辞書の引き方を解説しており、いいなと思いました。辞書を引くという行為そのものの必要性は薄れていきますから、古典を読むのとは違うと言われればそれまでですが、語学は言語だけでなく文字の文化でもあります。そこで、教科書は辞書の引き方も含めて基本的なことを大事にして欲しいと思います。三省堂でも辞書の引き方を説明していますが、「For Self Study」と書かれている点が少し気になりました。つまり、「自分で勉強しなさい」ということで終わり、では困ります。

この他、三省堂は「I have a dream」のキング牧師や、「Rakugo goes overseas」も、私達の時代と変わって面白い内容が取り上げられていると思いました。東京書籍もチャップリンの「City Lights」が掲載されていますが、一番良いと思ったのは、2年次の「Research your topic」という統計グラフを使ったプレゼンテーションのところでした。さらに3年生でも81ページにグラフや表を活用するようになっています。先ほど済々黌高校での話をしましたが、データの選択も含めたプレゼンテーション能力を育てる点ではとても良いと思いました。またオバマ大統領の広島訪問の話も新しい話題で重要だと考えます。

教育出版でも落語が取り上げられ、3年生にはオバマ大統領の広島訪問も載っていました。啓林館は全体として平均的な教科書という印象を持ちました。

開隆堂は、「Think」というタイトルに「考える」ことを組み込んでいるのがとても良いと思いました。自然や生き物をヒントにして製品開発をしているという私の好きなエピソードが英語化されていました。こうした題材は英語の理解だけでなく内容そのものに興味関心を持たせ、想像力を引き出すところが良いと思います。開隆堂のイグノーベル賞も面白いですね。

光村図書は2年生でEmojiとして日本発の絵文字を扱っていたり、鳥獣戯画の説明も入っていたりと工夫されていると思いました。

個人的には、東京書籍が辞書の使い方等を大事にしているところが印象的で、また統計グラフ等のプレゼンテーションを取り上げる点で良かったと感じました。

教育長

ありがとうございました。他に御意見ありますか。

櫻井委員

今は小学校から英語を教えると思いますので、中学校になって初めて英語を学んだ我々のときのイメージと違うというのが一番感じました。我々は単語を覚えること、構文や文法を覚えるのが主だったように思います。

文法をきちんと章立てしている教科書がなかったので、心配になりましたが、これでいいのかな、もしかしたら小学校で教わるのかな、と思いながら見ていま

した。それから英文の内容を見ましたら、我々のときは昔の物語みたいな題材が多かったのですが、今はスティーブ・ジョブズ氏の講演の話やオバマ大統領が広島に行ったときのスピーチの話等、名文というよりも内容が非常に興味ある、心に残る英文が選択されているなど感じました。日本語の勉強と違って、英文で読むと一字一字丁寧に読むことで頭に残ると思いますから、内容が良いと一石二鳥だなどと思って見ていました。私は理系の人の伝記が好きなので、東京書籍にはスティーブ・ジョブズ氏の話の中に、あまり知られていないウォズニアック（アップルの共同設立者）のこともしっかり書いてありましたので、これも良いなど感じました。

結論として、英文法はこのようなものでいいのであれば、取り上げてある文章の中身だけを見まして、東京書籍が良いと思いました。

高校教育課指導主事

現行の学習指導要領、そして改定された学習指導要領における文法の取扱いについて読み上げます。「文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、コミュニケーションの目的を達成する上での必要性や有用性を実感させた上で、その知識を活用させたり繰り返し使用することで当該文法事項の規則性や構造などについて気付きを促したりするなど、言語活動と効果的に関連付けて指導すること」となっています。

以前は文法を別に教えていましたが、言語活動の中で使いながら文法の事項を学んでいく形になっています。以上です。

櫻井委員

なるほど。そういうことですか。ありがとうございました。

教育長

他はよろしいですか。

それでは、委員の皆様から東京書籍という意見が多く出ましたけれども、東京書籍の採択ということによろしいでしょうか。

(委員了承)

教育長

ありがとうございました。

教育長

続きまして、特別の教科、道徳の教科書について説明をお願いします。

高校教育課審議員

選定意見書21ページ、特別の教科道徳です。道徳は7者からの採択となります。お手元のA3の教科用図書選定資料173ページの中学校道徳科の目標に照らし合わせ、県立中学校の教育活動に寄与することができる教科書としての観点から調査研究を行いました。各教科書発行者の総合評価結果を上段にまとめてあります。ポイントだけ御説明します。

東京書籍：「考える道徳」「議論する道徳」を実現するために、多くの図やイラストが掲載され、生徒が理解しやすい教材構成となっていて、活動時間を確保するために文章量も調整されています。

教育出版：道徳科で何をどのように学ぶかがわかりやすく示されていて、言語活動が充実するように工夫されています。

光村図書：学期ごとにテーマが設定されていて、学習の記録を残すのに適した編集になっています。

日本文教：教科書と道徳ノートの2冊から構成されています。写真や漫画、イラ

ストが多用されていて、生徒が親しみやすい構成となっています。
学 研：現代的な課題に対応した内容が多数掲載されていて、課題に対して主体的に向き合うことができる構成になっています。

廣済堂あかつき：道徳ノートを活用し、学期や1年間を振り返る工夫がされています。

日本教科書：言語活動が充実するように思考力・表現力の活用場面が多く設定されています。

選定委員会では、東京書籍と日本文教出版が特に工夫をなされているとされました。

東京書籍1ポツ目、文章が適量であり、多くの図やイラストが掲載されていることで、生徒が理解しやすい教材の構成になっています。例えば、東京書籍1年の22～23ページや28～31ページです。

東京書籍2ポツ目、各単元の文章は4ページを超えないようになっていて、協議等で互いの考えを伝えあったり、個人で考えを深めたりする活動を通して、県立中生徒が自己をみつめ、物事を幅広い視野から多面的・多角的に考えることができるようになっています。

東京書籍3ポツ目、役割演技、いわゆるロールプレイを取り入れた学習が各学年に設定されていることも工夫されています。例として、1年38ページを御覧ください。34ページからの文章を使って、5人1組で役割演技をし、互いのセリフから感じたことを書いたり、グループ内で伝えあったりする活動を行います。他に104ページでも取り上げてあります。

他者も見てみたいと思います。教育出版は29ページを御覧ください。思いやりの心というテーマでペアの役割演技が取り入れてあります。他に、81ページにもあります。光村図書は28ページです。人と人との関係作りをペアになって役割演技を通して学んでいきます。その他、日本文教出版は26ページと40ページに、学研は37ページにそれぞれ取り入れてあります。

この役割演技は、相手の気持ちを実感し、自己の行為や考え方を見つめ直すことを通して、問題場面に直面したときに望ましい行為を選択したり、相手の立場に立って行動する態度を育てたりすることができ、県立中生徒が道徳的価値についての理解を自分との関わりで捉えることができます。

もう一つ、東京書籍の工夫点として、1年2ページの観音開きになっているところを御覧ください。道徳の時間の目標や、話し合いの手引きが書かれています。このページを開いたままにしておくと、テキストの横にくるようになっています。話し合いの司会をする生徒が参考にできる作りになっています。

次に日本文教出版1ポツ目、日本文教出版の特に工夫されている点を見てみます。日本文教出版1年別冊の道徳ノートを御覧ください。教科書の各単元とリンクしていて、このノートを活用しながら、生徒が自分の言葉で、授業で感じたことや話し合いの記録がまとめられるようになっています。教材の各ページの下には、振り返りの欄もあり、毎時間の自身の活動を整理することができ、見通しを持って、主体的に学ぶことができるような工夫がなされています。

別冊は廣済堂あかつきにもあります。学習の記録の欄があり、各自が工夫して記録をとっていく形式で、最終ページ折り込みの「心のしおり」の部分に各時間の振り返りを行うようになっています。学研では、巻末に学期を振り返って、学期末に記録する「学びの記録」があります。日本教科書1年190ページを御覧ください。ここでは、1年間を行う予定通した形で振り返る場面が設定されています。日本文教出版は、振り返りや別冊ノートの教科書との連動性にも工夫がさ

れていて、県立中学生が道徳について考えを深めるような工夫がなされています。

最後に日本文教出版3ポツ目ですが、日本文教出版の1年2ページの目次を御覧ください。1～35まで教材がありますが、順に見ていただくと、「いじめと向き合う」というユニットが3回に分けられています。これは、いじめに関するデータを基に、いじめが発生しやすい時期に教材が重点配置されています。また、中学1年生がいじめ認知件数が多いことから、中1は3回に分けて教材を取り上げてあるなど、適切な時期に生徒達の心に響く教材が提供できるような工夫がなされています。

説明は以上です。

教育長

ただ今の説明について、御意見、御質問等がありましたらお願いします。

吉田委員

日本文教出版は、「明日を生きる」として10個の主要テーマをページで検索できる点で良い印象を持ちました。先ほど目次の紹介がありましたが、そのあとの4ページに教科書で学ぶテーマが提示され、それぞれをページで検索することでフォローできる工夫がされているのは素晴らしいと思いました。国際理解も重視されており、安全の視点も入っていました。

学研は「自分を見つめのばす」「まず人と支え合って生きる」「社会に生きる一員として生命を輝かせて生きる」というブロックを作って、22の鍵としていますが、同じページで検索できる点で斬新だと思いました。

教育出版も時代に対応して、安全防災等7つのテーマを設定していますが、個人的には熊本地震の話が含まれており、地元馴染みがあっていいなと思いました。

東京書籍は、テーマが4部類に分かれていて、先ほど評価が高かったと思いますが、いじめが最初に飛び込んでこないなと思っていました。ただ、内容としては大きく取り上げられていましたから、タイトルでは探しにくいけれども、十分カバーできているとの印象を持ちました。また、ロールプレイが重視されているのは評価できますが、これを本格的に行うには教師の技量が必要とされます。ただ、「あなたこういう役割をこなさい」「よかったね」「気持ち分かったね」で済むわけではありません。その過程でストレスが発生したときの対応法も押さえておかないと問題が起きることもあります。その辺りについては教育センター等でしっかり教育されていると思いますけれども、今後とも十分に配慮していただきたいと思います。

光村図書は「君がいちばん光るとき」のもとにキーワードが4分類されていますが、それぞれにページがほしいなと思いました。

廣済堂あかつきは「自分を見つめる、自分を考える、自分を伸ばす」と極めてオーソドックスだと思います。それから道徳ノートが付いていますが、これをどう使うかです。

日本教科書の「生き方から学ぶ、生き方を見つける、生き方を創造する」は流れがいいなと思いました。NHKで取り上げられていた羽田空港で徹底した掃除をすることで知られた方の話が載っています。こうした仕事に誇りを持つことの重要性が伝わるのはとても良いことで、生徒達も勇気づけられるでしょう。また、「町内会デビュー」についての記載がありました。今の子ども達のほとんどが町内会について知らないでしょう。そうした点で、地域に関わる団体や活動に焦点を合わせる事が求められています。

個人的には、日本文教出版が良いと思いましたが、例えばロールプレイについてしっかり研修されることを前提にすれば、東京書籍も評価できると思いました。

教育長

ありがとうございました。他に御意見ありますか。

吉井委員

日本文教出版はとても内容的に充実して面白かったです。

東京書籍は、「もしあのときに戻れるならば」というのにとっても興味があります。私もあのときに戻りたいというのはたくさんありますので、子どもにもここで一回体験してもらって、こういうことにならないように経験してもらえればいいと思いました。そして、心情円というものが最後に載っています。これはとても興味深く思いました。自分の中で言葉にできないようなものをこれで表現できれば、例えば授業が始まる前、円がこういう状態だったけれども、授業が終わると円がこういう状態に変わっていたというのが目に見えて分かる。家に帰って何故自分はこのときにこの状態からこの状態に円が変わってしまったのだろうと思うことができる。これはとても良い教材になるのではないかと思いました。私は内容的には日本文教出版が面白かったです。この心情円も良いなと思っているので、2者どちらでもいいと思います。

田浦委員

私も日本文教出版が良いと思いました。3年生の教科書35ページに「私達はなぜ人を攻撃するのか」とあります。例えば、今のコロナ禍の状況で、不安や正確な知識を知らないことで自分が冷静でいられなくなり、攻撃してしまったときにどうしたらいいのか。そのようなところに目を向けられていると思いました。

それから3年生の62ページ、「あるレジ打ちの女性」というところがとても面白かったです。就職してもなかなか仕事が長続きしない方で、自分のそういう面が嫌だ、自分のことがあまり好きじゃないという気持ちになられたのですが、踏みとどまって努力するべきところに気付いたときに仕事の価値に気付かれたという内容です。これは木下晴弘さんという方が書かれた本からの抜粋みたいだったのですが、一度この方の「何のために勉強するか」という講演を聞いたことがあります。そのときに「自分の能力を社会の役に立てるため」ということを言われていて、子どもに知ってほしい内容、子どもに聞かせて良かったと思える講演でした。

それから先ほども御説明がありましたが、取り扱った授業の内容から自分が何を得たか、どんなことに気付いたか、それをどのように生かしていきたいと思ったか。そのようなことを書き留めておくことが、自分が記憶しておく部分についても、自分の気持ちを整理する上でも重要だなと思いましたので、この教科書はぜひ取り上げていただきたいと思っています。以上です。

櫻井委員

私は道徳の授業で子ども達に何を学んでほしいかという、嘘をついてはいけない、人を騙してはいけない、人を殺してはいけない、物を盗んではいけない。そのようなところから始まって、非常にシンプルですが、奥の深いルールを教えることだと思えます。公德心とありましたが、人を、人として尊敬して、一人ひとりが自立して生きていることを認めて、かつ民主的に生きていこうということを中学校のときに学ぶのが良いだろうと思えます。そういう気付きがある教科書がいいなと思いつつ見ていると、日本教科書が一番かと思えます。副題に「生き方から学ぶ、見つめる、創造する」と書いてあるように、いろいろな人間の生

き方を淡々と記述することによって気付かせる、という手法は大変良いと思いました。道徳を押し付けないというところで、私は日本教科書が一番良いと思いました。

木之内委員

いろいろな場面が出ていて、読んでいて面白いと思うものが多かったです。日本文教出版の場合、1項目ずつが非常に簡潔に説明されていて、道徳ノートのところも自らが考えて書くような形にしてあるところは、振り返りもよくできて良いなと思いました。東京書籍等もいろいろな部分でそれぞれ工夫してありましたが、私は日本文教出版が学びやすいかなという感覚を持ちました。以上です。

教育長

ありがとうございました。

では日本文教出版が良いという御意見と、日本教科書、また東京書籍についても御意見がありました。いかがでしょうか。

一番御意見が多かったのは、日本文教出版でしたが、日本文教出版を採択ということでもよろしいでしょうか。

(委員了承)

教育長

ありがとうございました。

教育長

それでは、令和3年度使用教科書の確認をします。国語は東京書籍、書写は教育出版、社会の地理的分野は帝国書院、社会の歴史的分野は東京書籍、社会の公民的分野は東京書籍、地図は帝国書院、数学は数研出版、理科は啓林館、音楽（一般）は教育芸術社、音楽（器楽合奏）は教育芸術社、美術は光村図書、保健体育は大修館書店、技術・家庭の技術分野は東京書籍、技術・家庭の家庭分野は東京書籍、英語は東京書籍、特別の教科道徳は日本文教出版となりました。

教育長

最後に、社会の公民的分野において、これまで教科書を副教材として使用していますが、この件について、事務局より何かありますか。

高校教育課長

高校教育課です。副教材については、平成23年度の採択の際、社会の公民的分野において、採択されなかった育鵬社の教科書を副教材として使用することとなり、現在に至っています。

平成23年、当時の公民的分野の学習指導要領の目標に、「現代の社会的事象に対する関心を高め、多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を育てること」があげられていて、そこで、育鵬社において取り上げられている題材を、副教材として活用し、現代社会が絶えず動いていることを意識し、様々な観点からの考え方、見方があることを、この公民の科目で素直に学び、考え方の幅を広げて欲しいということで、育鵬社の教科書を副教材として使用することとなりました。

今回の学習指導要領改訂では、各教科の目標が三つの柱で整理された形で示されています。お手元の資料「中学校学習指導要領比較対照表【社会】」の1ページを御覧ください。社会科の目標が示されています。右側が改訂前の学習指導要領、左側が改訂後の学習指導要領となります。今回の学習指導要領改訂では、各教科の目標が（1）は「知識及び技能」について、（2）は「思考力、判断力、

表現力等」について、(3)は「学びに向かう力、人間性等」についての3つの柱で整理されています。また、多面的・多角的な考察についても、それらの資質・能力と関連付けながら具体的に示されています。このようなことから、今回の学習指導要領改訂を受けて編集された教科書は、平成23年度と比べて、どの教科書においても、多面的・多角的な考えができるよう工夫されています。

このことについては、学習指導要領において目標等が具体的に示されたことにより、教科書の内容も詳しく記述され、かつ多面的・多角的な考察ができるように工夫されていると教科書調査研究委員会からも報告を受けています。そのような点から今回採択した東京書籍の教科書は、平成23年度と比較して約40ページ、当時採択された教育出版の教科書においても約20ページ増加し、今回の学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」についても、学び方が教科書で丁寧に取り扱われています。

副教材については、教科書調査研究委員会及び教科書選定委員会でも、他の教科書を副教材として使用する必要性について協議を行っています。両委員会とも、「題材を通して、生徒が多面的・多角的なものの見方を学ぶことができるようになっていたり、主体的・対話的で深い学びにつなげることができたりすることから、他の教科書を副教材として使用する必要はない」という報告を受けています。

以上で説明を終わります。

教育長

ただ今、事務局より説明がありましたが、委員の皆様から御意見等ありますでしょうか。

吉田委員

公民に限らず、社会に関連して関心が持たれているものとして、例えば領土問題があると思います。この点について、学習指導要領との関係からどんな状況でしょうか。

高校教育課長

高校教育課です。今の委員の質問については、お手元の資料の29ページを開いていただければよろしいですか。領土について、学習指導要領の改訂前と改訂後の取り扱い方が少し変わって、詳しくなっているところです。領土の記述については、まず右側の改訂前について、(2)のところに、「領土(領海・領空を含む)」と、この程度でしたが、改訂後はその左側にあるとおり、「我が国が固有の領土である竹島や北方領土に関し、残されている問題の平和的な手段による解決に向けて努力していることや、尖閣諸島をめぐる解決すべき領有権の問題は存在していないことなどを取り上げること」と明確に示されています。前回の教育委員会の中で採択の際に確認していただきましたが、全ての教科書で学習指導要領に基づいて記述がなされているところです。以上です。

吉田委員

今回の学習指導要領改定には関心を持っていました。領土の記述等も随分と違っている印象がありました。そうした点も考慮して検討されたのだろうと思ってお聞きしました。

全ての教科書を1カ月ほどお預かりしたこともあって、この辺りの部分もしっかり読んでみました。その結果、それぞれの教科書間にとくに大きな差は感じませんでした。いずれも指導案に沿っているという印象で、多角的・多面的な記述をしていると言えらると思います。

また、中学生や高校生は学ぶ量が多くて大変そうですが、御説明のようにペー

ジ数も増える等、さらに内容が多くなっているようです。その点でも教科書だけで十分だろうと思います。

私の印象ですが、教科書全体が学習指導要領に対応しながら充実したものになっていたと思います。何よりも教科書をお使いになる先生方が「もう副教材は不要ではないか」という判断をされたのであれば、それでよろしいでしょう。

教育長

御意見ありがとうございました。他に御意見ありますか。

それでは、今回は、採択されなかった教科書を副教材としては、使用しないということによろしいですか。

(委員了承)

教育長

ありがとうございました。その他何かありますか。

吉田委員

ここで2点ほどお伺いします。教科書の選定に当たってはいつも多くの先生方が時間をかけて熱心に研究されています。こうした過程で出てきた生の声や意見が次の教科書に反映される道筋はあるのですか。

高校教育課長

毎年、指導主事が参加する研究協議会というものが文部科学省で開催されているのですが、この改訂がある前には必ず指導主事等について、文部科学省と各県の指導主事の意見交換はされているかと思います。

吉田委員

現場の声が生かされないと、教科書そのものが生きてこないと思います。おそらく永遠の課題だと思いますが、文部科学省でフィードバック回路をつくり、それを日常的に活用してほしいですね。

もう1点は、個人的な関心からお聞きしますが、これだけの教科書があって、それぞれにたくさんの執筆者がいらっしゃる。教科書という特殊なものですから、執筆料といってもほとんどボランティアに近いかもしれませんが、それにしても膨大な費用が掛かりますよね。それが採択されればいいですが、そうでない場合はどうなるのでしょうか。例えば国語を出したいところが手を挙げれば、そこには採択されなかった場合の最低保障のようなものはあるのだろうかという興味を持ちました。国としては一定の基準を設定して、採択にチャレンジしたいところには最低限の保障をする。そして、その上でしっかり良いものを作ってもらい仕組みが必要な気がします。この辺り、実際はどうなのでしょう。

高校教育課長

高校教育課です。今のお尋ねについては初めて伺った内容でありますので、保障されるのかどうかについては確認をさせていただきます。

吉田委員

ともあれ、良い教科書を作るための制度は必要だろうと思います。

これは個人的な関心からの質問ですから、回答はいつでも結構です。以上です。

教育長

その他は何かありますか。吉井委員。

吉井委員

今までに決まったことに反対するわけでは全くありません。

地図について、選定のときにも申し上げましたが、帝国書院の地図には拡大版として北九州は載っていて南九州が載っていませんでした。また、東京書籍の地

図には熊本県は全部載っていましたが、あからさまな表現で「福岡とその周辺」として、その周辺の中に熊本県が入っていたという記載でした。おそらく地図が好きな生徒さんもいらっしゃると思います。その地図を見る楽しみの一つとして自分が住んでいる場所がどのように表現されているのかを見ることもあるでしょう。今回採択されたのは帝国書院ですが、こちらには南九州が載ってなくて、北九州に熊本市がぎりぎり入っている状態です。つまり県立中学校がある八代市と宇土市は入っていないことになります。もし生徒に「何故、学校がある地域は載っていないのか」と聞かれたときに先生方はどうお答えになるのでしょうか。東京書籍が「福岡とその周辺」と記載していたのと同じように、大きな街が中心であって、それ以外のところはある程度枚数の都合で入らない、という判断だと思います。

先ほど吉田委員もおっしゃいましたが、もし教科書会社に意見を申す場があるならば、それはおかしいと是非言っていただきたいと思います。おそらく大きな街が中心という考えだと思いますが、どの地域に価値があるかということ判断するのは使う側と生徒であって、作る側ではないと思います。全て平等に載せて、判断は、使う側に任せてほしいと思います。この地図に自分の地元が載っていないことを県立中学校の生徒には大いに疑問に思っていると思います。故郷に誇りを持つということが教育委員会の目標の一つだったはずですが、自分の住んでいる地域がないがしろにされて黙っていられない、先生に何故載っていないのかと生徒には聞いてほしいし、先生方は生徒が納得するような回答を是非答えてほしいです。これをきっかけに自分の故郷がどう扱われているかという疑問とそれを解消する方法を考えて、一つの勉強のきっかけにしてほしいと思います。以上です。

高校教育課長

高校教育課です。吉井委員の御意見については、国にもいろいろな意見についてどのような形で伝える機会があるのかということも確認をして、可能な限り対応させていただきたいと思います。ありがとうございました。

吉井委員

そのように授業や子ども達からの疑問に先生が答えるという形を作っていただければと思います。是非お願いします。

教育長

その他何かありませんでしょうか。

無いようでしたら、これをもちまして本日の会議を閉会します。

引き続き今後ともよろしくお願いします。

6 次回開催日

教育長が、次回の定例教育委員会は令和2年（2020年）9月1日（火）教育委員会室で開催することを確認した。開催時間は、午前9時30分から。

7 閉会

教育長が閉会を宣言した。午後4時00分。